

日本甜菜製糖のパーパス

「パーパス（purpose）」はビジネスの場面において、
企業の「存在意義」を表す言葉として昨今注目されています。
1969年に制定した社是「開拓者精神を貫き 社会に貢献しよう」を
当社は半世紀以上守り続けて参りましたが、創業 100 周年の節目に当たり



当社の強みは何か

社会から何が求められているのか

わたしたちができることは何なのか

日甜グループの全社員を対象にしたグループ討議を 150 回以上行ない、
見つめ直しました。

畑から、食卓へ。

てん菜から広がる可能性を見だし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。



日本甜菜製糖



畑から、食卓へ。



⇒日甜グループは畑から食卓まで全てに関わっている

てん菜から広がる可能性を見だし、

⇒日甜グループはてん菜を有効利用し、その価値を高めることが出来る

人と環境にやさしいものづくりで、

⇒人にやさしい＝誰かが喜ぶものづくり

⇒環境にやさしい＝環境負荷を減らすものづくり



北海道、そして日本の未来に貢献します。

⇒わたしたちが出来ること、すべきこと

北海道だけでなく、日本の未来も見据えた事業を行なっていく

わたしたちは、これからも持続可能なてん菜産業の発展に尽力して参ります。

